

通信

きずな

第9号

終活ZOOMセミナー開催!

親の将来に不安を感じる子が
今やるべき3つのこと

2021年

終活

2月号

会報

きずな通信

終活イベントのお知らせ

【無料相談】

場所 アシストライフ

時間 約60分

※完全予約制
必ず事前にご予約ください
※ご自宅への訪問も可能です

《相談事例》

- ・遺言書
- ・相続
- ・身元保証人
- ・認知症に備える
- ・財産の管理
- ・死後の手続き
- ・葬式
- ・埋葬(海洋散骨など)
- ・墓じまい
- ・介護施設
- ・空き家の売却
- ・生前の整理
- ・遺品整理

～自筆証書遺言書講座～

自分だけの
遺言書を書こう!

【随時開催】

場所 アシストライフ
定員 1組・1名様
会費 お一人様 1,000円

事前にご予約ください。
ご希望の日時でもOK!

大好評!

苦小牧民報連載

佐藤美幸の
終活一問一答

掲載日

2月3日(水)

※毎月第一水曜日に掲載
します。
ぜひ、ご覧下さい。

ご相談はLINEでも受付けています!



- 事務所案内
開所時間/9:00～18:00
休日/日曜日・祝日
- 交通案内
道南バス 市役所前降車 徒歩3分
- 駐車場案内
タイムズ苦小牧表町第2(向い)
駐車料金(1時間迄)当社負担

アシストライフ
苦小牧市表町1丁目3-4

お問い合わせ 0144-84-3300



防災の力 ～ベンキング～



佐藤地村
佐藤地村

なぜベンキング(簡易トイレ)を作ろうと思ったのですか?
私は3年前の春に自宅で突然倒れ、心肺停止状態に陥り、医師から助かる見込みは無いと家族にも告げられましたが、奇跡的に回復しました。その後生活リズムと環境を変えるために東京から長野県へ引っ越しました。その時に「災害による直接死よりも災害による関連死で亡くなる方が多い」という事実を聞き、その原因の1つが罹災後の「トイレロス問題」にあることを知りました。せつかく助かった命を復興生活の中で失うほど無駄な死は無いと強く想い、1つでも救える命があるのなら「災害時危機管理事業(D-SOS)」を自社内で新設し、長野でご縁を頂いた発泡スチロール加工メーカーと共同で高密度発泡スチロール製で多機能な便座形状を兼ね揃えた製品として「BENKING/便王」を約1年の歳月を掛け完成させました。
ベンキングを作るうえで苦労した点は何でしょうか?
便座形成に苦労しました。老若男女、健常者から障害者、あらゆる体型の方が「安心・安全・快適」に使用できる便座・便器の制作を追求しました。便座形成の型は手作りです。何度も何度もナイフとヤスリを使って削り続け、多機能性に富んだ3D便座が完成しました。大変な苦労でしたね。ベンキングのメリットをお願いします。
段ボール製の簡易トイレと違い、水に強く、夜間や冬でも便座が温かく、繰り返し使用が出来ます。また成人だけでなく、幼児も使うことができるように便座穴を斜めに開け、後方は広くし前方は狭くして、後方に背もたれや左右には取手をつけることで幼児の穴落ちを防ぎ、高齢者の転倒リスクも防ぐことができました。耐水性・保温性・耐荷重・耐久性・軽量性・加工性に優れた高密度発泡スチロールを起用しました。誰もが安心して使えるよう、座り心地も追及して衛生面と利便性を向上させました。更に目隠し用ブランケットも同梱されているのでプライベート性も確保。組み立て約1分で完成し、洗って繰り返し使用することも可能です。本当に素晴らしい製品ですね。でもそんなベンキングにもデメリットはあると思いますが、どうでしょう?
製品のデメリットは殆どありませんが、必要な消耗品を全て同梱しているため外箱が少し大きいことです。それはデメリットと言えるものではないと思います(笑)ベンキングの今後をお話ください。
大規模災害時に国や自治体が推奨するマンホールトイレや仮設トイレは設置提供まで3～7日掛かると言われています。しかし1日も我慢の出来ない排泄行為を補うためには自助で準備をする必要があります。人=排泄なので、「トイレ備蓄推進」を各地で行っていきます。繰り返し使用できてお尻が温かいベンキングを宜しくお願いします!

災害備蓄管理士/株式会社C-SOS
地村健太郎社長にインタビューしました!

特集!日本の防災を変える

佐藤地村

佐藤地村

佐藤地村

地村健太郎
さんの
素顔

ちむら けんたろう
株式会社C-SOS(シー・エスオーエス)
代表取締役 CEO/デザイナー/災害備蓄管理士
住所:東京都新宿区上落合1-12-10 TDビル307
BENKING:高密度発泡スチロール製組立式簡易トイレ
ベンキングのお問合せ(アシストライフ)
電話:0144-84-3300 FAX:0144-84-3331
※ベンキングを実際に体験できます。



すぐ始められる整理術④



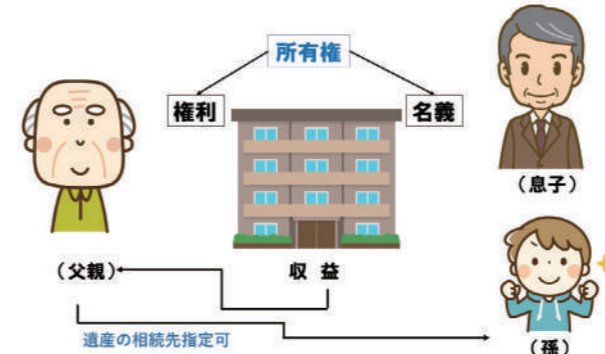
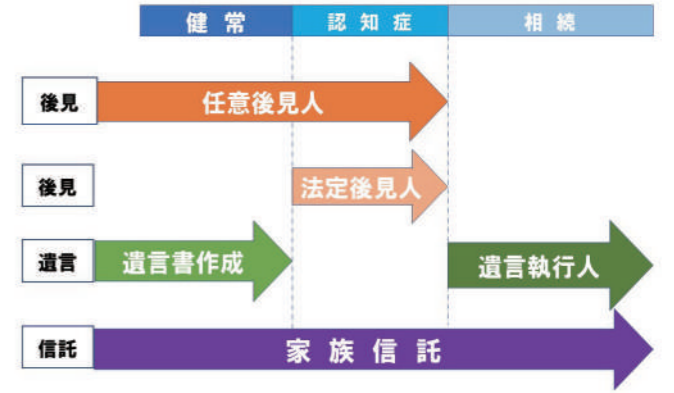
～デジタル遺品とは～

デジタル遺品とは、具体的にはパソコンやスマートフォンなどに保存されているデータのことをいいます。最近では、急速に情報のデジタル化が進み、さまざまなデータのやり取りをパソコンやスマートフォンで行う人が多くなってきました。デジタル遺品には、写真や映像、住所・電話番号・Eメールアドレスや送受信データ、FacebookやTwitterなどSNSのアカウント、インターネットバンキングの口座や株券、クレジットカードや電子マネーの情報があります。

デジタル遺品の整理・処分方法で特に気をつけたいのが、お金の管理に関することです。インターネットで買い物をした場合、パソコン内にクレジットカードの情報などが保存されている場合があります。今や日常的にネットで買い物をする時代。パソコンやスマートフォンにクレジットカードや電子マネーの情報が残された状態で処分すると、情報が流出して悪用される恐れがあります。パソコン内のデータを完全に消去せずにご家族が処分してしまった場合、クレジットカード情報の流出で悪用されるといった例もあります。パソコンを処分する場合には、専用ソフトでデータを完全に抹消するか、または、ハードディスクを完全に破壊するなど、データが流出することがないように、くれぐれも気を付けましょう。デジタル遺品のなかでもトラブルになりやすいため、前もって準備しておく必要があります。

知っておきたい家族信託のこと

高齢化社会の進展にともない、自分が認知症となってしまった場合や、万が一があった場合に財産の管理をどのように行うべきかについて不安をお持ちの方も多いかもれません。認知症対策としての財産管理の方法としては成年後見制度が、自分の死後の財産分配については遺言の制度がすでに存在していますが、近年注目されている方法として家族信託があります。家族信託とは、自分で自分の財産管理をできなくなってしまった時に備えて、家族に自分の財産の管理や処分をできる権限を与えておく方法です。家族信託では委託者(父親)受託者(息子)受益者(父親・孫)の3者が当事者となります。例えば、家を売りたいというときは息子が父親に代わって手続きができます。



父親が死亡した場合、孫に遺産を相続させることができます。このように父親が年老いて判断能力が低下しても、自宅を売却できるなど財産管理上のメリットがあります。判断能力に左右されないというのは、家族信託のメリットの中でも重要な点です。家族信託は、比較的最近できた新しい制度です。確かに便利で良いところもある仕組みなのですが、感覚として受け入れられないという人もいます。制度に対する十分な理解が必要です。専門家に相談が必要です。

話題の本

～新型コロナ自宅療養完全マニュアル～

家庭内での感染が広がっている中、もしも自分が家族が新型コロナウイルス感染症に感染したら、どのように療養し、看病すればいいのか。新型コロナウイルス感染症に感染しないためにはどうしたらいいのか。コロナ対策完全マニュアル (岡田晴恵/白鷗大学)



TOPICS

～エンディングノートレッスン⑧～

エンディングノートには自分が希望するお葬式を記入する項目があります。できるだけ詳しく書いておくことで残された家族が助かります。

①信仰している宗派 ②宗教団体の連絡先 ③葬式の規模(一般葬、家族葬など) ④葬式の場所(自宅、葬儀場など) ⑤祭壇の希望(供える花など) ⑥棺の希望(質素、華美など) ⑦遺影写真の指定 ⑧棺に入れてほしい品物 ⑨戒名の希望などを記入します。葬儀に参列する人の連絡先も必要です。葬儀費用に不安を感じる人は、希望する葬儀会社で葬式費用の見積りを取ることをお勧めします。

※2月のヘルスケア※

=うつのこと=

コロナ禍で家に引きこもることが多くなると軽い「うつ」の症状がでることがあります。うつの症状には、睡眠障害、疲労感・倦怠感、食欲の減退、動悸・息苦しさ・口が渇くなどがあります。また頭や肩、腰などの「重さや痛み」などの症状がでてきます。このようなうつには休養が大切です。食事は決まった時間帯に3食必ずとるようにします。また一定の睡眠時間を保つなど、生活リズムを乱さないようにしましょう。気が向くようなら、散歩などの軽い運動を始めてみるのも心身により影響をもたらします。



～子がする親の終活相談～

=ZOOMセミナー開催=

親の将来に不安を感じる子が今やるべき3つのこと

親が元気なうちに、今やるべきことを話します。もちろん、あなた自身のこととしても聞いて下さい。右記QRコードからお申込みください。



【開催日】 2021年2月4日(木)20時～21時30分
2021年2月5日(金)14時～15時30分
2021年2月6日(土)10時～11時30分
【参加料】 1,000円

【お問合せ】アシストライフ 0144-84-3300

御朱印の旅〈白川八幡神社(飛騨白川郷)〉

白川八幡神社(しらかわはちまんじんじゃ)は、岐阜県大野郡白川村にある神社である。世界遺産の白川郷にある神社である。かつての白川郷は飛騨国の庄川流域一帯のことであり、1875年(明治8年)、尾神村(御母衣ダムで水没)以北の「下白川郷」23ヶ村が白川村、海上村(御母衣ダムで水没)以南の「上白川郷」18ヶ村が荘川村(現高山市)になっている。白川八幡神社は、かつては上白川郷と下白川郷、計41ヶ村の産土神とされていた。毎年10月、どぶろく祭りが行われる。



白川八幡神社



編集後記

今月のきずなの対談は「防災の力」として特集しました。震災時のトイレの役割は本当に大切です。日本は海に囲まれています。そして雨が多い国です。水害は本当に身近な脅威になっていると思います。今までの簡易トイレは段ボール製のため熊本の震災の時は殆ど使用できなかったと聞きました。震災に備えることは、絶対必要です。ベンキングの実物は当事務所で展示していますので、まずは体験してみてください。(佐藤美幸)